

2/24 米・シアトルへ 派遣団結団式

ホームステイや視察、交流などを通して異文化を直接体験するとともに、外国や外国語に対する興味関心を高め、広い視野と意欲を持った児童・生徒の育成を図るため、日南町では平成27年度から米国・シアトルへ小・中学生を派遣する事業を行ってきました。新型コロナウイルスの影響により令和元年度から派遣を見合わせていましたが、今年度は4年ぶりに派遣団を派遣することとなり、令和元年度に派遣予定であった生徒も合わせ、高校生7人、中学生11人の計18人の生徒を派遣します。

青戸教育長は「出会いを大切に、楽しく有意義な海外派遣にしてほしい」と話し、生徒たちを激励しました。日南中学校3年の財原万歩さんは自己紹介の中で、「将来の夢に向かって一歩踏み出せるような機会にしたい」と目標を話しました。



3/1 日本海新聞ふるさと大賞

「日本海新聞ふるさと大賞2022」において、地域貢献賞に福栄伝統芸能保存会（蘆尾勝美代表）、スポーツ文化功労賞に日南中学校3年の浅田純伶さんが選ばれました。福栄伝統芸能保存会は、伝統芸能「かしらうち」の伝承活動やイベントなどでの発表を行い、地域活性化に貢献したことが評価され、浅田さんは、陸上とスキーの2種目で活躍し、いずれも全国大会への出場を果たしたことから、地元でのスポーツや文化の振興に寄与したことが評価されて、この度の受賞となりました。

表彰式で中村町長は、「地域の伝統芸能を地域みなさんで継続していただいていることをうれしく思う。浅田さんは小学生の頃から鍛え上げ、活躍していることに敬意を表したい」と祝辞を贈りました。受賞者を代表して蘆尾さんは、「これからも頑張っ



2/21 日南小「人権の花」運動に感謝状

今年度「人権の花」運動に取り組んだ日南小学校へ、鳥取地方方法務局米子支局と米子人権擁護委員協議会から感謝状が送られました。「人権の花」運動は、花を育てることを通じて子どもたちに命の尊さを感じてもらい、優しさや思いやりの心を育ててもらおうと実施されている運動で、児童たちは昨年5月に130本のマリーゴールドの苗を植え、毎日水やりをしながら育ててきました。

この日は感謝状の贈呈式が6年生の教室で行われ、法務局米子支局の難波康志支局長から代表の児童へ感謝状が手渡されました。



2/25 若者の主張 ~日野郡の中心で日野郡愛を叫ぶ!~

鳥取県日野郡連携会議が主催する「若者の主張 ~日野郡の中心で日野郡愛を叫ぶ!~」が日野町文化センターで開催されました。このイベントは、日野郡の若者たちに日野郡を自分の「まち」として捉えてもらい、地方自治について興味を持ってもらうことを目的として発足した「日野郡うちまち化プロジェクト」による事業の一環として行われたものです。

このイベントでは、日野郡内の6人の若者と1組のグループが、「私（たち）が自慢する“まち”の〇〇」をテーマに、それぞれが工夫を凝らした発表を行いました。

日南町からは地域おこし協力隊の田中里奈さんと弓場爽太郎さん（生山）が出場し、田中さんは趣味のバードウォッチングを通じて感じた自然のすばらしさについて、弓場さんは町のイベントを盛り上げる太鼓の演奏による町おこしについて、それぞれ発表しました。3町の町長と町議会議員による審査と観客による投票の結果、第2位に田中さん、第3位に弓場さんが選ばれ、中村町長から賞状と記念品を受け取りました。



2/10 JA女性会日南支部生産部に表彰状

学校給食において功績を挙げた団体等を鳥取県教育委員会が表彰する「学校給食表彰」で、鳥取西部農業協同組合女性会日南支部生産部が表彰されました。同生産部は、平成9年から25年にわたって町の給食センターへ野菜等の提供を続けており、学校給食における地産地消の推進に尽力した功績が認められ、この度の表彰となりました。

この日は表彰状伝達式が役場交流ホールで行われ、中村町長から支部長の白根早苗さん（茶屋）へ表彰状が手渡されました。白根さんは表彰式の中で、「大変うれしく思う。生産部のみなさんと喜びを分かち合いたい」と話しました。



2/17 日野上のイチョウ 折れ枝撤去

日南町の観光名所として人気となった旧日野上小学校校庭にあるイチョウの枝が、この冬の大雪で折れたことから、日野上まちづくり協議会や山里Loadにちなん、役場などの関係者によって撤去されました。

折れた枝は大きなもので直径20センチ、長さ10メートルほどあり、参加者は、小枝をノコギリやナタで切り落とし、大きな枝はチェーンソーで切断しました。切り出した木材は、福塚の白谷工房（中村建治代表）などに依頼して木工品として再生し、その売上の一部をイチョウ保護のために使う計画としています。

山里Loadにちなんの中島宏二理事長は、「枝が折れたことは残念だが、形は大きく変わっていない。今年も変わらず見事な紅葉が期待できる」と話しました。



2/10 日本消防協会から消防団活動車が寄贈されました

公益財団法人日本消防協会から日南町消防団に対し、消防団活動車（SUV型）が交付されました。この車両は、様々な災害現場における指揮態勢の強化を図ることを目的として導入されたもので、火災現場をはじめ、自然災害時における警戒活動や防火・防災の広報活動など、本町の安全・安心を担う日南町消防団において幅広く活用されます。



2/13 米風土鳥取が米コンテストで最高金賞&SDGs大賞受賞

昨年12月に静岡県で開催された「第19回お米日本一コンテストinしずおか」において、米風土鳥取（高橋隆造社長）の長尾達也さん（米子市）が大宮地域で栽培した「ゆうだい21」が最高金賞を受賞し、その報告のため中村町長を訪問しました。

同大会では、審査員が外観や食味、香りなどを総合的に評価し、出品された539点の中からベスト6となる米が最高金賞として選ばれました。

また、同じく12月に長野県で開催された「第24回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」において、全国初となるSDGs大賞を同社が受賞しました。同賞は、同社が米作りを通して消費者との交流や連携を深め、地域資源を守る活動に尽力したことが評価され受賞に至ったものです。

長尾さんは、「この賞を目指して頑張ってきたので本当にうれしい」と話し、同社取締役の藤原恵司さん（印賀）は、「活動を続けてきてよかった。今後も無農薬にこだわって米作りをしていきたい」と話しました。

